

人にやさしく！

校長 新居崎 杉彦

新しい学年に向けて！「変わる自分」に期待しよう！



2年生長縄跳びの様子

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、3月1・2日と臨時休校になりました。全国的には、感染者数も減少傾向にあり、ワクチン接種も順次おこなわれる見通しとなっていますが、本校のまわりの小中学校では昨年度末より何度も臨時休校になっていましたので、本校でもいつかはと予想はしていました。今後は、感染症が少しずつ収束し、一日も早く以前のように集会等をおこなうことができるように願っています。今後も、感染症予防を徹底しながら活動を続けていきますので、ご理解とご協力をよろしく願います。

さて、いよいよ3月に入り、6年生は小学校生活のまとめを、他の学年は1年間のまとめをおこなう時期になりました。6年生は、小学校生活の集大成になるように、1～5年生は新学年になることを意識して一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

さて、今学校では「外遊びチャレンジ」と題して、各学級で「3分間長縄跳び」に挑戦しています。これまでの記録は、**1年生…53回、2年生…50回、3年生…48回、4年生…269回、5年生…210回、6年1組…370回、6年2組…346回**はじめは全然跳べなかった1・2年生もたくさん跳べるようになりました。3年生は、今「ドッチボール」に力が入っていますが、今後記録は伸びるでしょう。そして「長縄跳び」に燃えている4年生は、最初は100回もなかなか跳べなかったのに、今では200回を超えました。取組が少し遅れた5年生も目標の150回を超えました。さすがに、6年生は両学級ともに300回越えです。「人は変わることができる」子どもたちを見ていつもそう思いますし、「より良くなりたい」と願う心があれば、必ず結果がついてくると確信します。「長縄跳び」はひとつの例ですが、ひとりひとりに「やればできる」という手応えがあると思います。子どもたちにはそれぞれ自分が選んだ「何か」で、根気よく頑張してほしいと願っています。ご家庭でも、子どもたちに温かい声かけをよろしく願います。そして、夢中能れる「何か」を見つけることの大変さも共感してあげてほしいと思います。

1年生 たぬきの糸車 出前授業

12月21日(月)に、国語で「たぬきの糸車」を学んだので、夜間中学で教員をされていた福島俊弘さんをお招きし、糸車で糸をつむぐ体験をさせてもらいました。まず最初に、子どもたちが「たぬきの糸車」を音読して体験が始まりました。糸が「綿」という植物からできていることも知らなかった子どもたちは興味津々で、最初に綿の実から種を取り出したり、弓のような道具を使って、綿をはじいてほぐしたりしました。最後に、写真にあるように、糸車で綿を一本の糸にする体験をさせてもらいました。綿が出来る様子も教えてもらい、たくさん学習することができました。福島先生、本当にありがとうございました!!



新代表委員会始動

2月12日(金)、3～5年生までの新しいメンバーで代表委員会がおこなわれました。議題は「6年生を送る会について」で、新運営委員や各部新委員長、3～5年生の各学級代表が参加して、プログラム等について話し合いました。今まで6年生がリードしてくれた代表委員会ですが、これからは5年生を中心にこのメンバーで新しい丹波市小学校をつくっていくこととなります。新メンバーのみなさん、丹波市小学校をどうぞよろしくお願いいたします。



2・3年生「命のおはなし会」出前授業

2月25日(木)に、助産師の山下百子さんに来ていただき、「命のおはなし会」の出前授業をおこないました。今から8年前、子どもたちの命が砂一粒くらいの小さなところからスタートしたことや、お母さんのおなかの中でどのように成長したのかを教えてくださいました。少しずつ成長していく様子を写真で見せてもらい、写真や手作りの赤ちゃん人形を使っておなかの中で成長していく様子を学びました。へその緒から栄養分をもらって大きくなったことや羊水の中で守られていたことなど、子どもたちは今日初めて知ったことを感想文には書いていました。とても貴重なお話をしてくださった山下さんありがとうございました。

